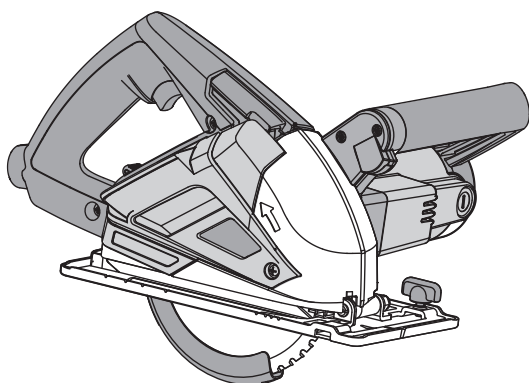


防じんスチールカッター ASC520

取扱説明書

保証書付



もくじ

■安全上のご注意	1～8
■各部の名称	9
■仕様・付属品・用途	10
■別販売品	11～12
■ご使用前の準備	13
■ご使用前の点検	14～16
■操作方法	17～23
■切断作業	24～27
■保守と点検	28～29
■保証書	30



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告

A) 作業環境

1. 作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

B) 電気に関する安全事項

1. 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用しないでください。
 - ・ 改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電するおそれがあります。

警告

3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。
 - ・ 感電のおそれがあるので、ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。
5. 屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外使用に適した延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

C) 作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業してください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、傷害事故が低減されます。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンになった電動工具の電源プラグを電源コンセントにさし込むと事故の原因になります。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・ 電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転して傷害のおそれがあります。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つことで、予期しない状況でも適切に操作することが出来ます。
 - ・ 材料を動かして加工する製品を除き、クランプや万力などを利用し材料をしっかりと固定して加工してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

警告

6. きちんとした服装で作業してください。

- ・ 回転部に巻込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・ 集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

D) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。

- ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
- ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。

- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。ご購入前にお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

3. 意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
- ・ 保管、または修理する場合
- ・ その他危険が予想される場合

4. 使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。

- ・ 不慣れな方のご使用は危険です。

5. 電動工具の保守点検をしてください。

- ・ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 保守点検が不十分な場合、事故の原因になります。
- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- ・ 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・ スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
- ・ スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

警告

- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
 7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。
 - ・指定された用途以外に使用すると、事故や故障の原因になります。
 8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

E) 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
 - ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を發揮しただけでなく、事故やけがのおそれがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。
 - ＜異常・故障例＞
 - ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感じる。
 - ・スイッチを入れても動かない。 等すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書、および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となるおそれがあるので使用しないでください。

警告

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかり固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
4. 濡れた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・ 感電のおそれがあります。

防じんスチールカッターご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、防じんスチールカッターをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となりけがの原因になります。
2. ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
 - ・ チップソーが露出していると、けがの原因になります。
3. チップソーは、銘板に表示してある範囲内のチップソーを使用してください。また、刃底径が130mm以下のチップソーは使用しないでください。
 - ・ ロアガード（保護カバー）の覆いが不完全となり、けがの原因になります。
4. 使用時は必ずダストボックスを取付けてください。
 - ・ 取付けていないと、切断時切り粉が外部に飛散し、けがなどの原因になります。
5. 切断する材料は、必ず安定性のよい台に置いてください。
 - ・ 台が不安定ですと、けがの原因になります。
6. 切り落とし寸前や切断途中で、材料の重みでチップソーがはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
 - ・ チップソーがはさみつけられると、けがの原因になります。
7. 切断材料は確実に固定してください。
 - ・ 固定が不安定ですと切断材料が飛んだり、チップソーが破損する原因になります。
8. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。また、切り落とした材料がチップソーと接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは少なくとも、チップソーの出しろの3倍以上にしてください。
 - ・ このような台がないと、けがの原因になります。

警告

9. 金属を切断するときは引火しやすいもの傷つきやすいものは、遠ざけてください。
 - ・ 切りくずは高温になり、または切断火花も発生します。
 - 切りくずなどを直接手足などにあてると、けがの原因になります。
10. 切断油などをつけて切断しないでください。
 - ・ 切断油、研削液およびワックスなどの種類によっては、切断時の火花で発火する場合があります。
11. 使用中は、本体を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
12. 使用中は、チップソーや回転部、切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
13. 切断途中で、チップソーを回転させたまま本体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持上げるようにしてください。
 - ・ 回転させたまま本体を戻したり、持上げると強い反発力が生じ、けがの原因になります。
14. 鋼材の連続切断はしないでください。
 - ・ 鋼材を連続して切断すると、切断火花、切りくずによりダストボックスが高温となり、変形したり、溶ける原因になります。
15. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
16. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（チップソーなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 刃物類（チップソーなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・ 確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。
2. 切断材料に適したチップソーを使用してください。
 - ・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
3. チップソーにヒビや割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ チップソーが破損し、けがの原因になります。
4. 使用中は、皮製の手袋を着用してください。軍手など巻込まれるおそれがある手袋は着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
5. 作業前に、人のいない方向にチップソーを向けて空転させ、本体の振動やチップソーの面振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・ 異常があるとけがの原因になります。
6. プレーキが働くときの反発力に注意してください。
 - ・ 本体を落としたりし、けがの原因になります。
7. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
 - ・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
8. 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上にのせたまま作業しないでください。
 - ・ 手を切ったり、コードを切断し、感電のおそれがあります。
9. 回転するチップソーで電源コードを切断しないように注意してください。
 - ・ 感電のおそれがあります。
10. 本体を万力などで保持してチップソーを上向きにした使い方はしないでください。
 - ・ 不意の接触などで、けがの原因になります。
11. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
 - ・ 材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
12. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
13. 作業直後の刃物類（チップソー）、切りくず、ダストボックスは高温になっていますので直接手など触れないでください。
 - ・ やけどの原因になります。
14. 切りくずは満杯になる前に早めに捨ててください。
 - ・ ダストボックス内に切りくずが満杯のままで使用すると、集じん力が低下します。また、ダストボックスが高温となり、変形、溶けの原因になります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

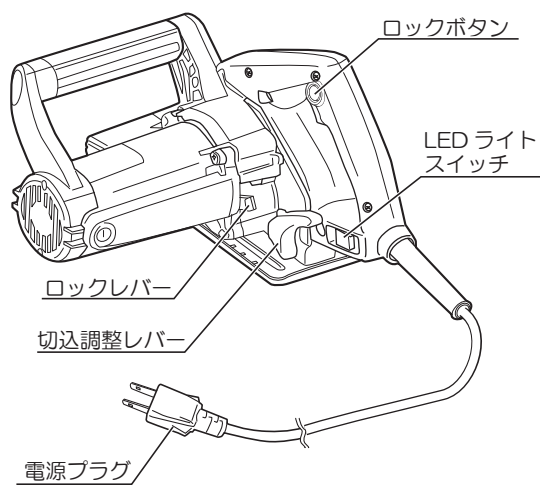
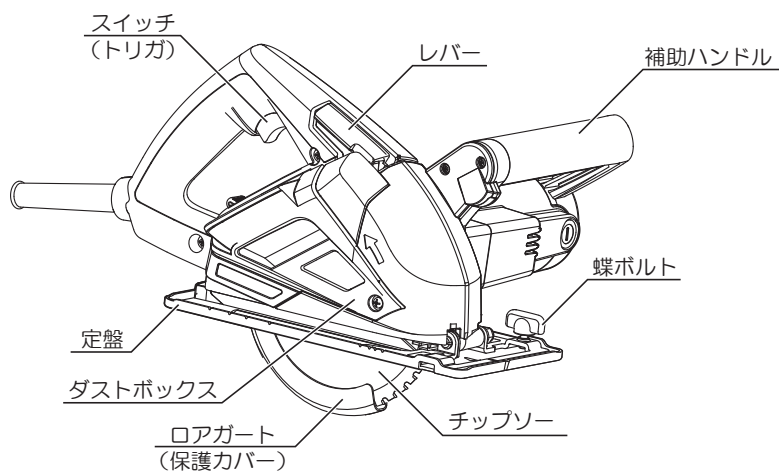
二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

各部の名称

●各部の名称



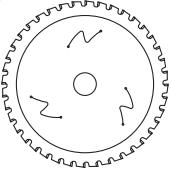
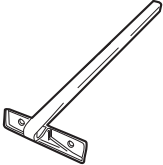
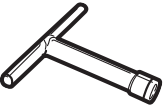

仕様・付属品・用途

●仕様

- ・電源…………… 单相・交流 100V 50/60 Hz
- ・定格電流…………… 12.5 A
- ・消費電力…………… 1,150 W
- ・無負荷回転数…………… 3,300 min⁻¹
- ・最大切込深さ…………… 52 mm
- ・チップソー寸法（外径×内径）…………… 147 mm × 20 mm
- ・本体寸法（長さ×幅×高さ）…………… 321 mm × 270 mm × 231 mm
- ・コード長さ…………… 5 m
- ・質量…………… 3.8 kg
- ・絶縁方式…………… 二重絶縁

◆上記は当社の基準に基づいた値です。

●付属品

<p>・レーザースリットチップソー …… 1 （鉄工・ステンレス用）</p> <p>外径：147mm 内径：20mm 厚さ：1.2mm 刃数：40 枚</p> 	<p>・ソーガイドフェンス …… 1</p> 
<p>・ボックススパナ（10mm） …… 1</p> 	<p>・保護めがね …… 1</p> 

●用途

- ・一般軟鋼材、ステンレス、非鉄金属、金属系建材などの切断

別販売品

本機の性能を十分に発揮させ、効率よく作業をするためには、切断材料に適したチップソーをご使用ください。

各種切断材に対する適性一覧

切断材料	一般軟鋼材					
	アングル鋼	チャンネル鋼	リップ溝形鋼	軽溝形鋼	角パイプ	鋼管
チップソー	寸法 (板厚: T) 6mm 以下					
※ 鉄工・ステンレス用(付属品) 外径: 147mm 内径: 20mm 厚さ: 1.2mm 刃数: 40 枚	◎	◎	◎	◎	◎	◎
鉄工用 外径: 147mm 内径: 20mm 厚さ: 1.2mm 刃数: 40 枚	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※レーザースリットチップソー







- ・別販売品は純正品をお買い求めください。別販売品の詳細につきましては、総合カタログを参照していただくか、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ・別販売品は予告なく変更することがあります。

⚠ 警告

・別販売品を使用の際も保護めがねを使用してください。

◎：最適 ○：良好 △：可能

		ステンレス		非鉄金属		金属系建材	
鋼板	鉄筋	パイプ	鋼板	アルミサッシ	真鍮管・真鍮棒	鋼製下地材（軽天・壁用）	ガルバリウム鋼板
							
	D19 以下	3mm 以下					
◎	◎	◎	◎	○	○	△	△
◎	◎	○	○	○	○	○	○

ご使用前の準備

●作業する場所に関して

- ・作業場は整頓をし、明るくしてご使用ください。

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

- ・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、定格感度電流が30mA以下の漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●延長コードを使う場合

⚠ 警告

- ・延長コードは損傷のないものを用意してください。

- ・電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。
右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ	最大の長さ
2.0 mm ²	20 m

- ※ 延長コードを使用すると能力が低下します。

●作業台（木製）を用意します。

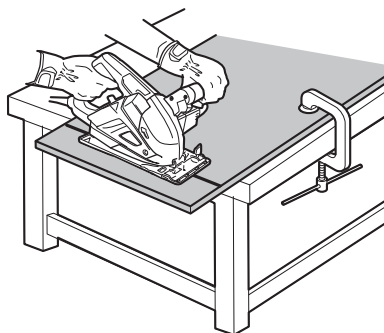
- ・チップソーが材料の下面より出ますので、材料は作業台の上に置いて切断してください。

作業台の高さ

- ・チップソーおよびロアガードが地面に接触しないように、十分な高さ（チップソーの出しろの3倍以上）にしてください。

材料の固定

- ・切断する材料（切り残し側）をバイスなどで固定し、両手で作業してください。



●チップソーを取付けます。

- ・19～20 ページ『チップソーの取付け、取外しについて』参照

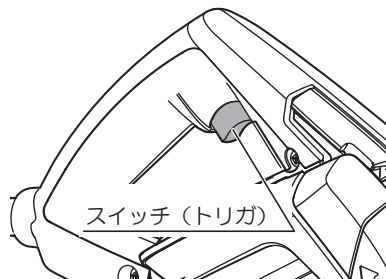
ご使用前の点検

⚠ 警告

- ・ ご使用前に次のことを確認してください。
①～⑥項については、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

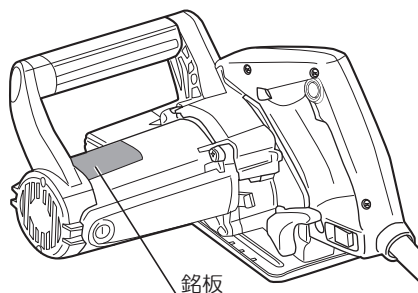
① スイッチ

- ・ トリガがスムーズに動くことを確認してください。
- ・ スイッチが入っていることを知らずに、電源プラグを電源コンセントにさし込むと、不意に始動し、思わぬけがの原因になります。



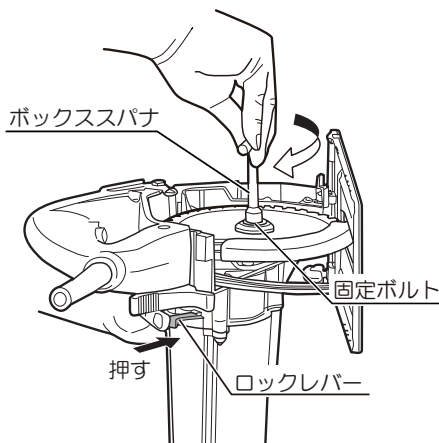
② 使用電源

- ・ 必ず銘板に表示してある電圧 (100V) で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に高速となり、本体が破損するおそれがあります。



③ チップソーの締付け

- ・ ダストボックスを取外し、ロックレバーを押込みながら、付属品のボックススパナで固定ボルトを時計方向に回すと、チップソーの回転が止まる位置があります。その状態のまま締付けてください。



⚠ 警告

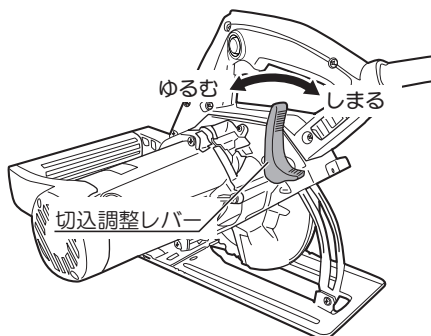
- ・ ロックレバーが元の位置に戻り、チップソーが円滑に回転することを確認してください。

ご使用前の点検

④ 切込調整レバーの締付け具合

⚠ 警告

- ・ 切込調整レバーが十分に締まっていることを確認してください。ゆるんでいると、けがの原因になります。



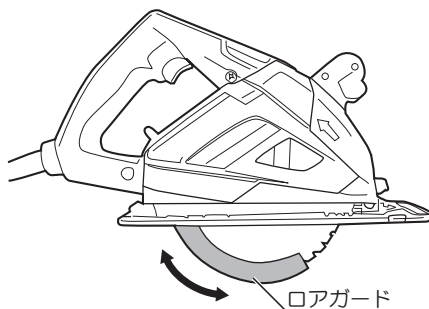
⑤ ロアガード（保護カバー）の動作

⚠ 警告

- ・ ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。チップソーが露出していると、けがの原因になります。

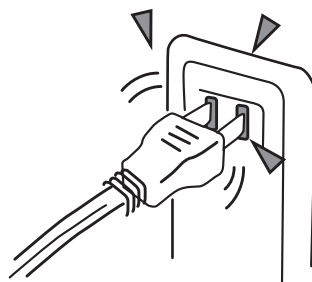
- ・ ロアガードは、身体がチップソーに触れるのを防ぐものです。必ずチップソーを覆うように円滑に動くことを確認してください。

- ・ 万一、ロアガードが円滑に動かない場合は、決してそのまま使用しないでください。この場合は、お買い上げの販売店に修理をご用命ください。



⑥ 電源コンセント

- ・ 電源コンセントががたついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。

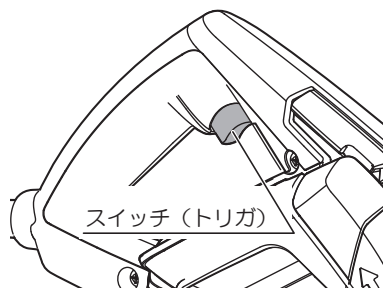


⑦ ブレーキの作動

⚠ 注意

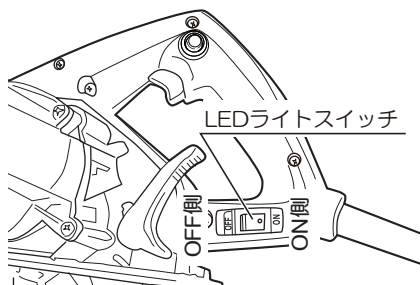
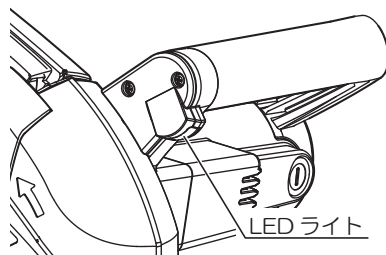
- ・ ブレーキがかかるときの反発力に注意してください。本体を落としたりし、けがの原因になります。

- ・ 本機はスイッチを切ると同時にチップソーの回転にブレーキがかかる構造です。ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。
- ・ 万一正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店に修理をご用命ください。



⑧ LED ライトの点灯

- ・ LEDライトが点灯するか確認してください。LEDライトスイッチの『ON』側を押すと点灯し、『OFF』側を押すと消えます。



操作方法

●スイッチについて

⚠ 警告

- ・ 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

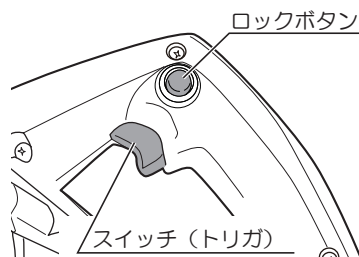
⚠ 注意

- ・ 本機はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本機をしっかり保持してください。本機を落としたり、事故の原因になります。

- ・ スイッチは引き金方式です。
トリガを引くと入り、放すと切れます。

連続運転する場合

- ・ トリガをいっぱいに引いた状態でロックボタンを押込みます。ロックボタンを押込んだまま、トリガから指を放すと、トリガが固定され連続運転になります。
- ・ 再度トリガを引くと固定が解除され、指を放すとスイッチが切れます。



ブレーキ付

- ・ スイッチを切るとノコ刃がすばやく止まるブレーキ機構を備えています。

● LED ライトについて

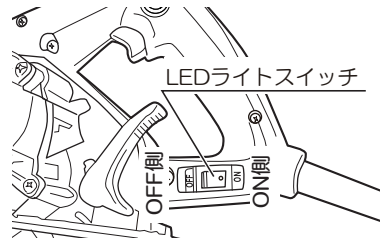
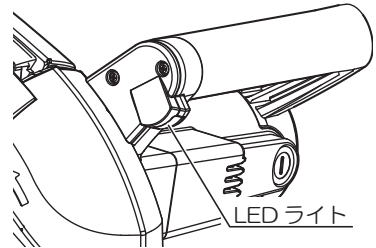
⚠ 警告

- ・ LED ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。LED ライトの光が連続して目にあたると、目を痛める原因になります。

- ・ ケガキ線が見やすいLED ライトがついています。
- ・ LED ライトスイッチの『ON』側を押すと点灯し、『OFF』側を押すと消えます。



- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などでふき取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、明るさの低下の原因になります。
- ・ ライトレンズの清掃の際は、ガソリン、シンナーなどでふかないでください。レンズを傷めます。



操作方法

●チップソーの取付け、取外しについて

⚠ 警告

- ・チップソーの取付け、取外しの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・チップソーは、銘板に表示してある範囲内のものを使用してください。また、刃底径が130mm以下のチップソーは使用しないでください。ロアガード（保護カバー）の覆いが不完全となり、けがの原因になります。
- ・チップソー取付け後は、ボックススパナを取外し、チップソーがスムーズに回転することを確認した後、スイッチを入れてください。ボックススパナが飛ぶなどしてけがの原因になります。

⚠ 注意

- ・チップソーの取付け、取外しは取扱説明書に従って確実に行ってください。確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。
- ・チップソーにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してください。チップソーが破損し、けがの原因になります。
- ・作業直後のチップソーやダストボックスは熱くなっていますので、素手で触らないでください。やけどの原因になります。
- ・チップソーの脱着は付属品のボックススパナ以外の工具を使用しないでください。締め過ぎまたは、締め付け不足となり、けがの原因になります。

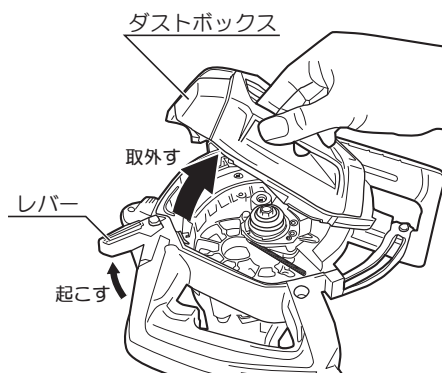
（取付け）

① 切込深さを最小にします。

- ・切込深さを最小にして、安定した台の上に本機を置きます。
(22ページ『切込深さの調整について』参照)

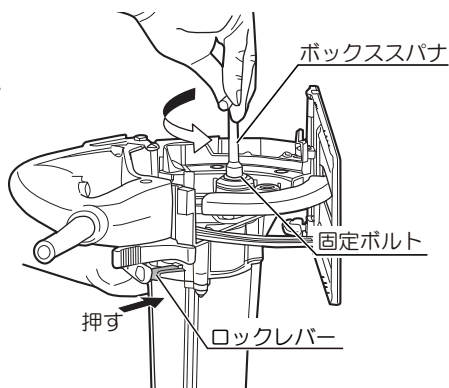
② ダストボックスを取外します。

- ・レバーを起こしてダストボックスを取外します。(26～27ページ『ダストボックスの脱着について』参照)



③ ギヤシャフトを固定します。

- ・ ロックレバーを押えた状態でギヤシャフトが固定されるまでゆっくりとボックススパナで固定ボルトを反時計方向に回します。

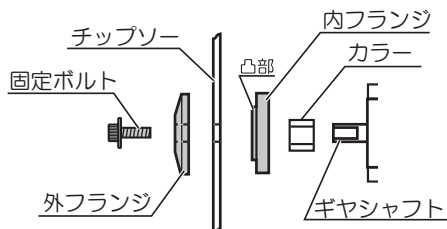


④ 固定ボルト、外フランジを外します。

- ・ ギヤシャフトを固定した状態で、ボックススパナを反時計方向に回し固定ボルトをゆるめ、固定ボルト、外フランジを取外します。

⑤ 内フランジの向きを確認します。

- ・ 内フランジの凸側がチップソー側になるように取付いているか確認してください。

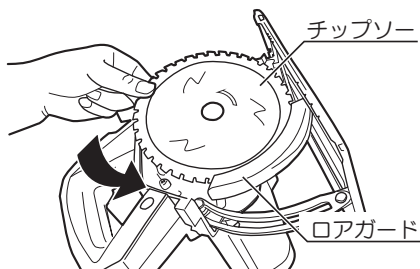


⑥ チップソーを取付けます。

- ・ チップソー、外フランジ、固定ボルトの順に取付けます。

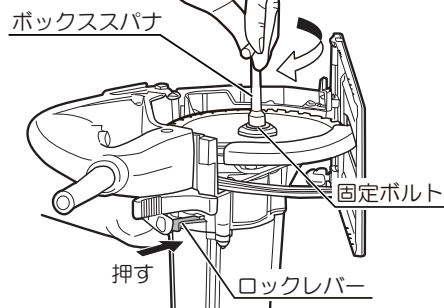


チップソーの矢印とギヤケースの矢印方向が一致するように取付けてください。



⑦ 固定ボルトを締付けます。

- ・ ロックレバーを押さえた状態でボックススパナで固定ボルトを時計方向に十分に締付けます。



⑧ ダストボックスを取付けます。

- (26～27 ページ『ダストボックスの脱着について』参照)

操作方法

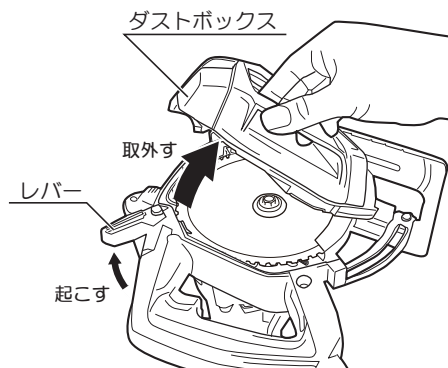
(取外し)

① 切込深さを最小にします。

- ・ 切込深さを最小にして、安定した台の上に本機を置きます。
(22 ページ『切込深さの調整について』参照)

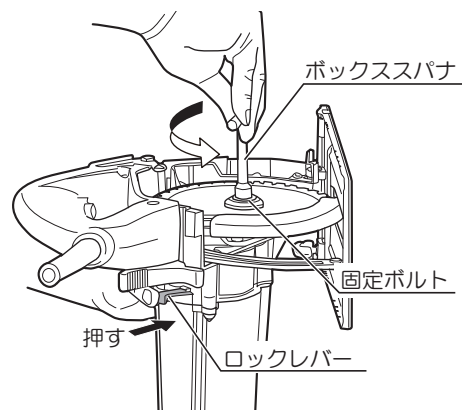
② ダストボックスを取外します。

- ・ レバーを起こしてダストボックスを取外します。(26～27 ページ『ダストボックスの脱着について』参照)



③ ギヤシャフトを固定します。

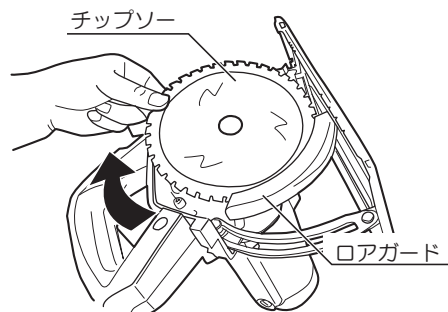
- ・ ロックレバーを押えた状態でギヤシャフトが固定されるまでゆっくりとボックススパナで固定ボルトを反時計方向に回します。



④ 固定ボルト、外フランジを外します。

- ・ ギヤシャフトを固定した状態で、ボックススパナを反時計方向に回し固定ボルトをゆるめ、固定ボルト、外フランジを取外します。

⑤ チップソーを取外します。

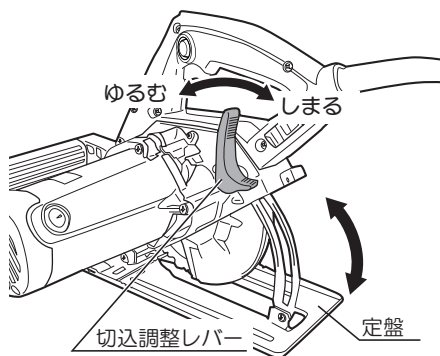


●切込深さの調整について

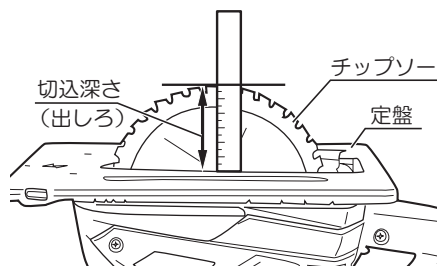
⚠ 警告

- ・ 切込調整レバーがゆるんでいると、けがの原因になります。調整後は十分に締付けてください。

- ・ 切込調整レバーをゆるめて、定盤を上下させて調整します。
- ・ お望みの切込深さを決め、切込調整レバーをしっかりと締付けて固定してください。

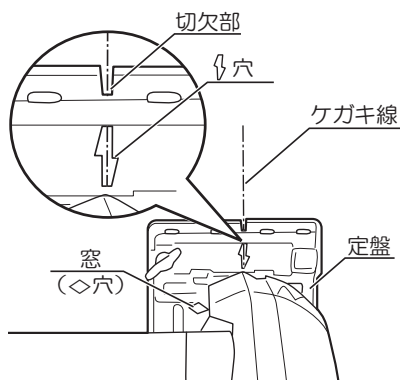


- ・ 切込深さ（出しろ）は、定盤面から出ているチップソーの寸法を測って決めてください。



●切断位置について

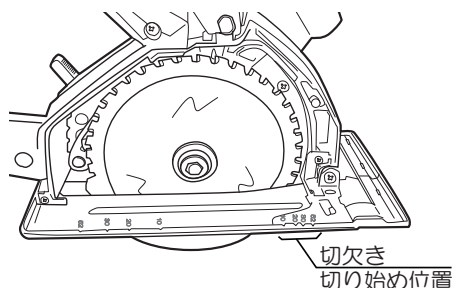
- ・ 切断する材料の上に本体（定盤）をのせ、ケガキ線が定盤先端の切欠部と⚡穴の中心を通るように合わせてください。
- ・ 定盤についている窓（◇穴）は、最大切込深さでのチップソーの刃先および材料の位置が確認できます。



操作方法

●刃先の位置について

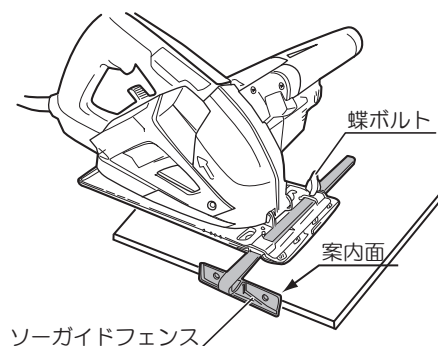
- ・ 定盤の両側についている切欠きはチップソーの刃の位置を示します。
切り始めの刃先位置が確認でき、材料を途中で切断するときに便利です。
- ・ 切欠き部横の数字は切込深さを表しています。
切込深さを最大（52mm）に設定した場合は、数字 52 の切欠きが刃先の位置になります。



※イラストは説明のためダストボックスを取外した状態です。

●ソーガイドフェンスについて

- ・ 正確な直線側面を持つ材料では、ケガキ線を引く必要がなく、同寸法の加工が連続してできます
- ・ 切断幅寸法は、チップソーとソーガイドフェンスの案内面までの寸法によって決められます。
- ・ ソーガイドフェンスは定盤の左右どちらにでも取付けられます。
- ・ 取付けは、寸法を合わせた後、蝶ボルトでソーガイドフェンスを固定します。



切断作業

⚠ 警告

- ・電源コンセントにつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。（防じんマスクは市販品を利用してください。）
- ・使用前にロアガード（保護カバー）やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか所定の機能を発揮するか確認してください。異常があるとけがの原因になります。
- ・ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。けがの原因になります。
- ・使用中は、チップソーや回転部、切りくずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- ・切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。まっすぐ静かに進めてください。モーターに無理がかかるとともに、反発力を受け、けがの原因になります。
- ・チップソーを上向き、横向きにした使い方はしないでください。けがの原因になります。
- ・切断途中で、チップソーを回転させたまま本体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が止まってから本体を持上げるようにしてください。回転させたまま本体を戻したり、持上げると強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ・作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠ 注意

- ・回転するチップソーで、コードを切断しないよう注意してください。
- ・チップソーにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。チップソーが破損し、けがの原因になります。
- ・使用中は、皮製の手袋を着用してください。軍手など巻込まれるおそれがある手袋は着用しないでください。回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
- ・作業中や作業直後の本機金属部やダストボックス、切りくずは高温になっています。やけどのおそれがありますので、十分注意してください。
- ・本機はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本機をしっかり保持してください。本機を落としたり、事故の原因になります。

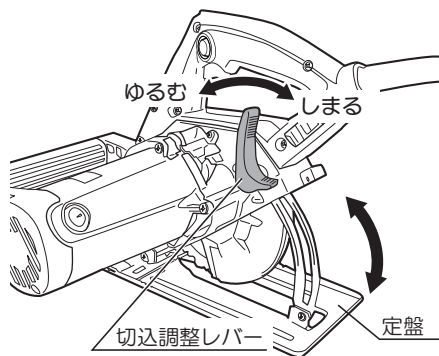
切断作業

●基本的な切断手順

① 切込深さを調整します。

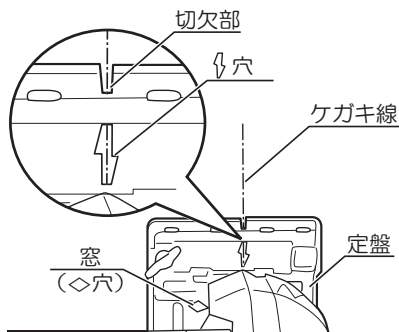
- ・切断する材料の厚みに合わせて、切込深さを調整します。(22 ページ『切込深さの調整について』参照)

② 電源プラグを電源コンセントにさし込みます。



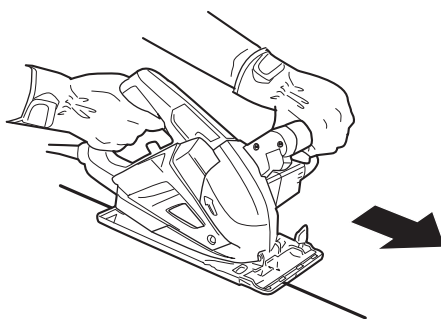
③ ケガキ線に合わせます。

- ・切断材料の上に本体(定盤面)をのせ、ケガキ線が定盤先端の切欠部と⚡穴の中心を通るように合わせてください。



④ スイッチを入れ、ゆっくり進めます。

- ・チップソーが切断材料に触れていないことを確認してスイッチを入れます。
- ・チップソーの回転が上がり、安定したら定盤面を切断材料に密着させ、静かに本体を前方に押し進めて、切断を行ないます。
- ・切断終了後、チップソーを切断材料から外してスイッチを切ります。



(作業のコツ)

- ・ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。特に切り始め、切り終りはゆっくり進めてください。



本体を逆さまにしないでください。
ダストボックスに溜まった切りくずがこぼれます。

●ダストボックスの脱着について（切りくずの捨て方）

⚠ 警告

- ・ダストボックスの脱着の際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注意

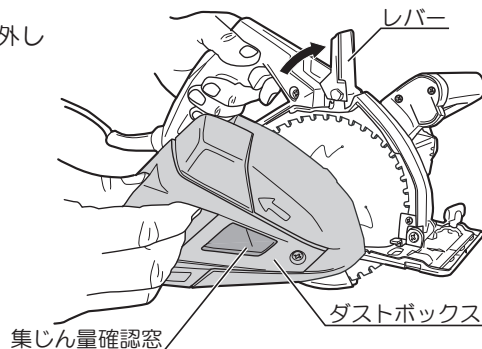
- ・切断直後の切りくずは高温になるため、ダストボックスが高温になる場合があります。切りくずやダストボックスには直接手など触れないでください。必ず保護具（手袋）を着用してください。



- ・ダストボックス内に切りくずが溜まりすぎると、集じん力が低下します。集じん量確認窓から時々確認し、満杯になる前に早めに切りくずを捨ててください。
- ・湿った材料を切断した後は、直ちに切りくずを捨ててください。そのままにしておくとサビや故障の原因になります。

① ダストボックスを取外します。

- ・レバーを起し、ダストボックスを取外します。



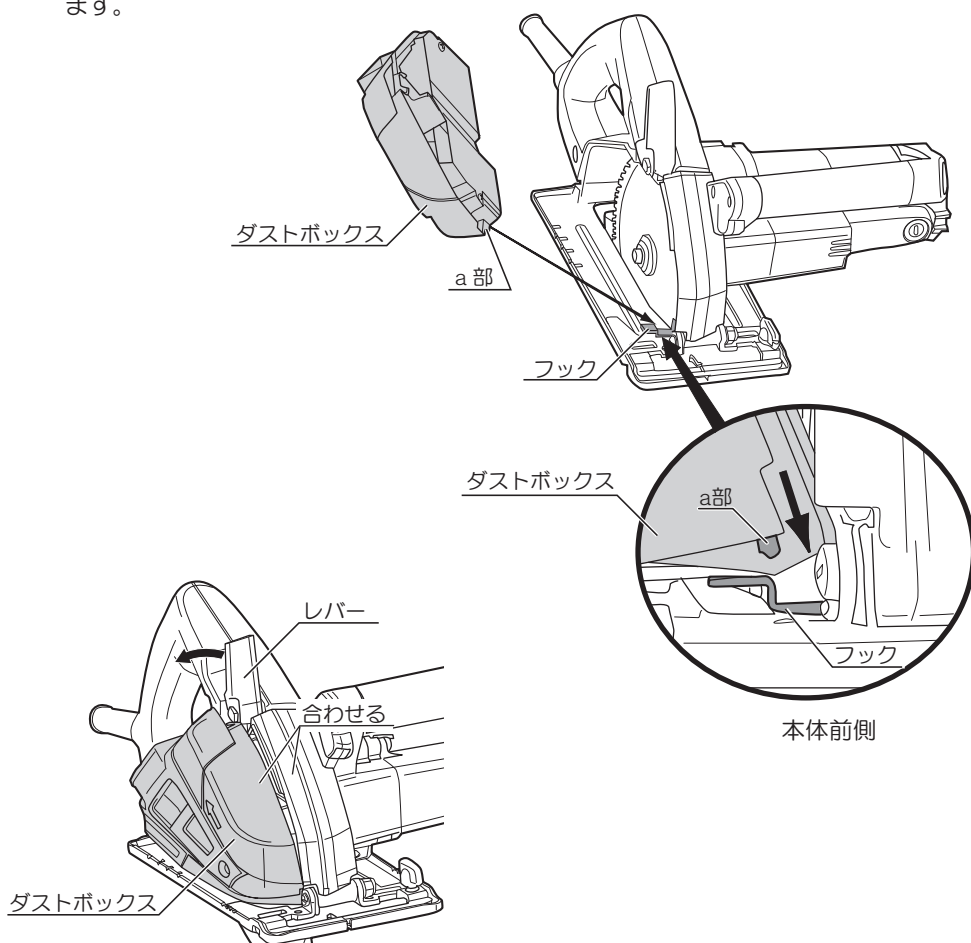
② 切りくずを捨てます。

- ・ダストボックス内に溜まった切りくずを捨ててください。

切断作業

③ ダストボックスを取付けます。

- ・レバーを起こした状態で取付けます。
本体前側のフックにダストボックスの a 部をさし込み、ダストボックスを本体に合わせます。
- ・レバーを戻して、ダストボックスを固定します。



保守と点検

⚠ 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注意

- ・切断直後の切りくずは高温になるため、ダストボックスが高温になる場合があります。切りくずやダストボックスには直接手など触れないでください。必ず保護具（手袋）を着用してください。やけどの原因になります。

●チップソーの点検

- ・切れ味が悪くなったチップソーをそのまま使用すると、モーターに無理がかかりモーター焼けの原因となります。早めに新品と交換してください。（交換方法は、19～21ページ『チップソーの取付け、取外しについて』を参照してください。）

⚠ 警告

- ・切れ味の悪くなったチップソーはそのまま使用しないでください。無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

●各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

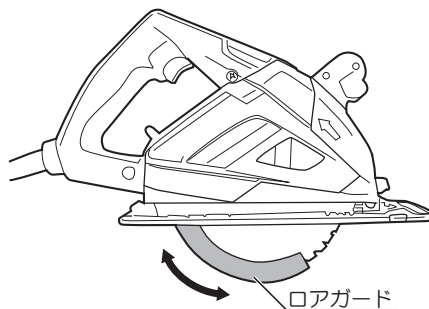
●使用後の手入れ

- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。
- ・ダストボックス内に付着している切りくずを乾いた布などできれいにふきとってください。

保守と点検

●ロアガード（保護カバー）の動作点検と保守

- ・ロアガードは、いつも円滑に作動するようにしてください。
なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。

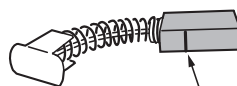
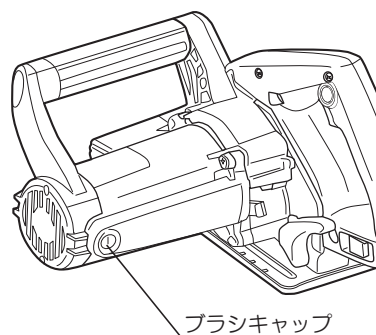


●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。
お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。

●カーボンブラシの点検

- ・本機はモーター部に消耗品のカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシは全長の1/3（線の入った位置）程度に摩耗したら新しいカーボンブラシと交換してください。
短くなったカーボンブラシをそのまま使用すると、火花が大きくなり、モーター焼損の原因となる場合があります。
- ・ブラシキャップを⊖ドライバで取外し、カーボンブラシを取出してください。
- ・カーボンブラシは2個1セットです。交換するときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも同時に交換してください。
この時、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くことを確認してください。



この線まで使用できます。

●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名 ASC520		製造番号
お客様	お名前	
	ご住所 〒 電話 ()	
お買い上げ日 年 月 日		保証期間（お買い上げ日より） 1年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号 印	

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障または損傷。
純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷。
 - 工場のライン作業など、連続して長時間したことによる故障または損傷。
 - 保管や手入れの不備による故障や損傷。
 - リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合。
 - 水の浸入による故障または損傷。
 - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
 - 過剰な負荷で使用をされて生じた故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
 - モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を記載したレシートの添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品類の場合。
 - 天災、異常電圧などによる故障または損傷。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only for Japan.)
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

■修理メモ



京セラ インダストリアルツールズ販売株式会社

〒468-8512

愛知県名古屋市中白区久方1-145-1

TEL 052 - 806 - 5111

レシート貼付

サービスネットワーク（営業所）

当社サービスネットワークは、以下のQRコードまたはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル **0570-666-787**

受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、12時50分から17時30分まで

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

発売元

京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

本 社

〒468-8512 名古屋市天白区久方1-145-1

TEL 052-806-5111 FAX 052-806-5141

<http://www.kyocera-industrialtools.co.jp>



※ リョービ販売株式会社は京セラインダストリアルツールズ販売株式会社に社名を変更しました。